

議 事 概 要

協議会名称	伊勢市地域包括ケア推進協議会(第14回)
開催日時	令和6年3月22日(金) 13:30~14:50
開催場所	伊勢市役所本庁舎東館5階5-3・5-4会議室
出席した委員	萩吉康、徳田敦、村瀬広和、前村裕司、斎藤茂、本村鏡一、三浦徹、森和香子、前島賢、牛谷能人、二ノ宮尚美、黒精美行、岡本忠佳、北村鈴代、赤坂知之 計15名
欠席した委員	小林裕典、森川和俊、西出裕一、水島徹 計4名
出席した事務局職員	江原(健康福祉部長)、辻村(健康福祉部次長)、小林(健康福祉部参事兼福祉総合支援センター長)、奥野(健康福祉部参事兼福祉監査室長)、森本(介護保険課長)、藤川(主幹兼介護認定係長)、山本(介護保険料係長)、中村(介護給付係長)、中野(介護給付係主査)、谷(健康課長)、杉浦(健康課主幹)、奥野(高齢・障がい福祉課長)、井波(高齢福祉係長)、世古口(医療保険課長)、小川(福祉総合支援センター長補佐)、服部(主幹兼地域福祉推進係長)、田代(総合相談係長)、北口(包括ケア推進係長)、竹原(福祉監査室事業所係長)、後藤((株)ぎょうせい) ※計20名
傍聴者	4名
議題及び協議概要	<p>1 第10次老人福祉計画・第9期介護保険事業計画(案)について「資料1」</p> <p>○第10次老人福祉計画・第9期介護保険事業計画(案)について、事務局から資料に沿って説明</p> <p>委員「用語の解説について、五十音順にもアルファベットが入っているが、五十音順から抜いて並べた方が分かりやすい。」</p> <p>事務局「前回の協議会でいただいたご意見を元にこのようにさせていただいたところである。」</p> <p>委員「五十音順で分かるような書き方をしてもらおうとよい。カタカナ表記の有無は統一してほしい。」</p> <p>事務局「修正できるところは修正させていただく。」</p> <p>会長「修正内容は、会長と事務局にお任せいただくことでよいか。また、計画の内容については了承いただけるか。」</p> <p>→了承</p>

2 地域包括ケア推進協議会委員の公募について「資料2」
○地域包括ケア推進協議会委員の公募について、事務局から資料に沿って説明

→了承

3 地域密着型サービス事業者等の指定更新等について「資料3」「資料3-1」

○地域密着型サービス事業者等の指定更新等について、事務局から資料に沿って説明

委員「訪問介護は、法改正により報酬が引き下げられると聞いたがそうなのか。」

事務局「そのように聞いている。国、県と一緒に課題を解決していきたい。」

委員「事業所の廃止理由は、人員不足によるとのこと。楠部町で人員不足になる理由は何か危惧する。なぜそうなったのかを市として気にしてほしい。」

事務局「おっしゃるとおりである。市として気にしていきたい。」

委員「訪問介護相当サービスの事業所廃止は、総合事業のみの廃止か。」

事務局「県指定の訪問介護の廃止とあわせての廃止である。」

委員「新規申請の事業所の代表者兼管理者の住所が愛知県となっているがどういふ状況なのか」

事務局「住所は愛知県であるが、現状は伊勢市で生活しており、住民票も移す予定であるとのこと。」

→了承

4 第5回認知症にやさしいまちづくり分科会開催結果報告について「資料4」

○第5回認知症にやさしいまちづくり分科会開催結果報告について、事務局から資料に沿って説明

委員「認知症初期集中支援チームの効果はどのようなものか。」

事務局「医師会からの専門医や地域包括支援センターの認知症支援員などが、支援が必要とされた方に対して支援をしている。会議の開催数は3回で、延べ5件の支援を行った。」

→了承

5 地域包括支援センターの運営について「資料5」「資料5-1」

○地域包括支援センターの運営について、事務局から資料に沿って説明

委員「五十鈴地域包括支援センターの移転理由は何か。」

事務局「利用者の利便性の向上のため、利用しやすい所に移ったとのこと。」

委員「電話番号は、山咲苑の電話番号なのか。」

事務局「五十鈴地域包括支援センター独自の電話番号である。」

→了承

6 その他

○事務局より連絡

今期の地域包括ケア推進協議会は、今回が最後となる。委員のみなさまありがとうございました。